

ライブファクトリーⅡ リニューアルオープン!!



アンデックス株式会社 ライブファクトリーⅡ

本社：〒722-0051 広島県尾道市東尾道15-29 TEL.0848-46-3711 (代) FAX.0848-47-1211
東京・大阪・名古屋・岐阜・福岡・山波工場・LIVE FACTORY

■創業：1971年9月
■資本金：1億円
■代表取締役：田邊 耕造

■事業内容：塗装設備、塗装ブース、乾燥装置および関連機器

自動車補修用塗装設備および乾燥装置のメーカーとして、国内トップシェアを誇る。2017年6月期決算においては、SME格付けで最上位の「aaa」を10期連続で取得している。自動車ディーラーや板金塗装工場、工業用大型塗装設備の分野から高い評価を得ており、航空機・鉄道車両・建機などの特殊塗装設備も数多く提供する。



CAB-RS



塗装設備、各種塗装ブース、塗膜硬化乾燥装置などの塗装設備の総合メーカーとして多くの実績を誇るアンデックス㈱は、2016年6月に本社ライブファクトリーをオープンして、多くの来場者に好評を博してきたが、このほどリニューアルを果たした“Live Factory II”を公開した。

2年前に開設したライブファクトリーは、高品質・恒温恒湿塗装ブースの①CAB-ZONE、自動車補修塗装工場向けの塗装ブース②CAB-SP、VOC・CO₂を削減する③CAB-H2から構成されていた。

今回、新たにオープンしたのは、塗装ロボットシステムブースのCAB-RSと水平流塗装ブースCAB-VHを開設したことによる「高品位塗装」と

「環境改善」の追求を目指したもの。

それぞれの開設目標と特長を以下に紹介する。

① CAB-RS

ウェットエア式空調機による恒温・恒湿な環境下で塗装ロボットによるデモンストレーションが行える。

防爆型塗装ロボットシステムと塗料供給装置を導入したCAB-RSは、新型ファン、除電器などの最先端装置を取り入れ、多数のセンサーでIoT対応している。これにより、離れた場所から遠隔操作が行えるなど、最新技術の粋を結集したシステムになっている。

特に、ワークは素材を選ばずさまざまな形状に

CAB-VH



も対応できる。

塗装ロボットは、4トップ旋回台付きで塗料供給装置と制御盤がシステムとして稼動している。

塗装ブースは、前室・後室の設置により、除塵(じん)・除電器によるゴミ・ホコリをシャットアウトして、品質保持に万全のシステム構成になっている。

さらに、エアカーテンの設置は塗装ブース内の防塵効果を発揮。扉が開いている状態でも内圧の保持ができる。

② CAB-VH

側面・天井面が同時に開閉できる水平流塗装ブース。

天井・側面が同時に“手動”で軽く開閉が可能である。このため、ピットレス仕様で、フォーク・クレーンによる搬入作業がスムーズに行えることで、効率のアップが図られる。

さらに、除湿ユニットを具備しており、冷却もできる。また、天井からもワークの搬入が可能のため、手動・自動操作もできるので、生産効率のアップと品質の保持に大きく貢献できる。

特に、工業塗装分野においてはフレキシブルなメカニズムを構築しているブースは、多様なワークに高効率な塗装システムの実現に大きな威力が期待される。

特殊仕様のブースは、これまでの塗装ブースの



発想にはないさまざまな機能性を備えている画期的なシステムと言える。

③ ライブファクトリーIIの検証

今回のライブファクトリーIIのリニューアルと共にアンデックス㈱は、今後の展望を以下のキーワードとして掲げている。

1. 空調化

作業環境の改善、水性塗料への対応、温暖化対策。

2. 自動化

ロボットによる自動塗装、IoT、除塵・除電。

④ 今後の展開

今やものづくり日本の向かう方向性として、環

境改善、高品位塗装とアンデックス㈱のポリシーと符合する。

労働力不足は、自動化への方向性に向かっていることから、ロボット塗装への注目度はますます高まっている。

「CAB-RS」のロボット塗装システムブースは、最先端のシステム技術によって、その方向性の重要な役割を担うだろう。

「CAB-VH」の側面・天井面同時開閉式水平流塗装ブースは、作業環境・品質保持・塗装効率の面から時流の最先端のニーズと言える。

ライブファクトリーIIのオープンによる塗装現状のイノベーションがここに集約されている。